

平成19年5月31日

報道機関 各位

東 北 大 学

東北大学医学部の医師派遣状況  
ー東北大学医学部地域医療支援機関の取り組みー

平成15年、大学院生の名義貸し、公的病院から大学への研究助成金が社会問題となりました。東北大学医学部では、「地域貢献ワーキンググループ」「地域貢献作業班」を設置し、その解決策と地域医療への貢献策を明らかにしました（詳しくは、「地域医療システム構築ー東北大学医学部の取り組みー（東北大学出版会）」をご覧ください）。

平成17年2月、地域医療を担う病院と大学との関係の透明化を図ることを目的に「地域医療支援機関」を設置し、大学の医師派遣窓口として対処してまいりました。

このたび、平成17年度の常勤医の派遣状況についてデータを分析しましたので、公表させていただきます。

1 データの分析結果

- 東北大学医学部地域医療支援機関及び東北大学大学院医学系研究科地域医療システム学（宮城県）寄附講座が共同で実施。
- 「平成17年度東北大学医学部医師派遣状況報告書」としてとりまとめました（別添）。報告書については、下記のホームページから入手可能です。  
○ 東北大学のホームページ (<http://www.tohoku.ac.jp/japanese/>)

・ 医師派遣の概要

|           | ①要望病院数 | ②要望医師数 | ③派遣医師数 | ④応需率<br>(③/②) |
|-----------|--------|--------|--------|---------------|
| 前期（4～9月）  | 141    | 483    | 96     | 19.9%         |
| 後期（10～3月） | 106    | 408    | 54     | 13.2%         |
| 通年        | 193    | 537    | 150    | 27.9%         |

- 分析結果の概要は、報告書の15～16ページの「総括」にまとめています。

2 今回の公表の意義

- 地域医療支援機関設置以後、東北大学からの医師派遣の実態について、初めてデータを分析し、その結果を公表するものです。
- 他大学においても医師派遣の窓口の一本化が進められていますが、医師派遣の実態について詳細に分析し、その結果を公表するのは、全国で初めてと思われます。
- 医師派遣の実態の公表は、病院と大学との関係の透明化に寄与するものです。
- 今後、全国的に医師派遣の実態が公表されれば、医師不足の実態、そして、これからの地域医療のあり方を検討する上で貴重な資料になることが期待されます。

問い合わせ先

○地域医療支援機関についてのお問い合わせ

東北大学病院総務課総務係（担当：阿部，大友）

電話 (022) 717-7007 FAX (022) 717-7016

○データの分析結果及び東北大学の地域医療への取り組みについて

東北大学大学院医学系研究科地域医療システム学（宮城県）寄附講座

（担当：金村政輝） 電話 (022) 717-7599 FAX (022) 717-8041